

二〇〇八年度 第二回日本学連幹事会

日本学連普及部長 京都女子大学 田川雅美

<普及部 活動報告>

- ① 今年度（現時点での）新歓状況の確認
- ② 前年度・前々年度に作成された新歓マニュアル・ビラは活用されたのか
- ③ 要望

	増減	具体的な大学の増減	使用トレイン
東海学連	↑	名大・椋山共に爆発的に増	山はNG
北東学連	↑	東北・MG増、岩(県)大減	山でも何でも
北信越学連	↑	新潟大増	山はNG
関東学連	↑	早稲田・日本女子・慶応増	?
関西学連	↓	京大・立命増、神大減(0)	?

メモ：口頭での状況では増加傾向にあるが、小さな大学等を入れた場合・正確な数字・今後の変動は現時点でわからない。※詳しくは事務局長の岩崎くんより学連登録を通し、状況の傾向解説がありました。なお、一部抜粋すると、関西と関東の人数変動は、どの大学も5、6人であり、毎年同じような人数変動の傾向あり(大学の密集が原因?)。

○各学連の特徴としては…

東海学連：マイナーな感じを出さないようにしている。GW明けに入部してくるのが普通。

ミーティングやインカレ出席などの拘束力を高め、遅刻はペナルティを与えるなどしている。大学内マップなどを使用し、山には連れて行かないようにしている。雰囲気をよくするためにBBQなどを企画している。

北東学連：新人でも、山にも入れるし何でも入れるが指導はなし。なお、東北は元々部数が少ないため、部を選ぶ選択肢が少ない。その中で、サークルに近いというのをアピール。MGについては、新歓は1チャンス。ビラには力を入れている。

北信越学連：北信越では連携をとって新歓を行っている。新潟大は入部時は多いが、兼部をしていたりして、半数は辞める。キャンパスOやパークOなどをメインにし、山には入れない、さくらんぼ大会で山に入れる。なお、新潟大はインカレと夏合宿は絶対参加をさせている。また、企画としては、カレーOや自己紹介Oなどのイベント系で新人の心をつかんでいる。

関東学連：関東学連としては、新歓ペアOでしか連携した新歓活動はない。新歓ペアOは例年100人以上が参加している。また、一年生同士を仲良くさせる努力をしている。現在OLKでは、男性より女性の方が人数が多い。

関西学連：京大8・立命8・奈良女1・神大0などとバラつきがある。なお、入部者は他学年も多い。大きな大学以外は、小さな大学ばかりなので、単独の新歓活動ができないため、関西学連レベルでの連携(練習会のオープン化&合同化・新歓合宿等)を行っている。なお、他大学との連携は女子には有効的。

○前年度・前々年度に作成された新歓マニュアル・ビラ&要望について…

認知及び利用された報告なし。なお、ビラについては閲覧されていない状況。

よって、普及部前任者である小林くんより、ビラデータ等を引き継ぎ、閲覧&参考できるように処理を行う。ビラ案の閲覧化をさせ、参考にしてもらう。

○まとめ

名大&東北大では、クラブとしての拘束力を持つ事を通して。(→これがウケている?)

また、多くのクラブで新歓期には山トレインには入れず、キャンパスやパークといったトレインを使用している。日本学連普及部としては、入部や顔出しはまあまああるという状況把握をした。しかし、継続して部においてもらう事を維持する事が難しいので、今後としては入部した人をいかに引き止めるか、またいってもらえる魅力をアピールできるかについて焦点をおきたいと考えている。